

# 公共交通網計画の進捗は

## 策定を進める

**問** 地域公共交通網計画はどうか。交通弱者や自動車免許を返納した高齢者などへの対応はどうか。

**佐藤町長** 地域公共交通網形成計画の策定を進めている。必要に応じて町地域公共交通会議を開催し、委員の皆さまから意見をいただきながら進めている。また、交通弱者や高齢者の移動手段の確保は重要な課題と捉えており、交通網形成計画の策定を通じて検討していく。

**問** 交通網形成計画は具体的にどのようなものと考えているか。

**甲斐谷復興企画課長** 基本的にはバス事業の継続的な運営が主眼。また、計画を通じて交通空白区をなくし、日々の暮らし、買い物、通院等に支障が出ないようにしたい。

**問** 豊間根地区の上豊間根や荒川地区は奥が深く、自動車免許を返納すると生活が不便になる。空白区をなくしたいと考えているようだが、費用

が掛かるのでは。  
**復興企画課長** 空白区には民間のバス事業者は、路線を配置しないという

## 児童虐待の対応は

### 要支援家庭として管理

**問** 全国的に児童虐待が増加傾向にあるが、本町の状況は。

**町長** 過去3年間の発生件数は、27年度と28年度はそれぞれ6件、29年度は9件である。内容別では、子どもの前で親が配偶者に対して暴力を振るう面前DVや、暴言を浴びせるなどの心理的虐待が9件と最も多く、性的虐待6件、ネグレクト4件、身体的虐待2件となっている。なお本年度は、11月30日現在で、身体的虐待が1件発生して

ことで、民間事業者にかわり町が運営することになるというのが現時点での考え方である。例えば町民バス、町営バス、民間タクシー業者に委託をするなどのさまざまな方法があり、具体的に検討していく。費用については財源を検討している。

いる。

**問** 虐待のハイリスク家庭には早期対応が必要だと思うが、どのように対応しているか。

**野口健康子ども課長** 教育、児童福祉、保健医療などの関係機関で組織する町要保護児童対策地域協議会において、要支援家庭として管理している。ささいな情報でも管理ケースとして取り上げ、状況が改善されるまでの間、町の相談員などが関わりを継続し、見守りしている。

## 小・中学校再編は

### 委員会を設置し準備を進める

**問** 小・中学校再編について、説明会の結果についてどのような認識か。また、今後の計画は。

**佐々木教育長** 大沢小、山田北小、山田南小、織笠小、轟木小、大浦小の学区は合意が図られた。荒川小は豊間根小との再編を希望する声が多く、今後の協議が必要。豊間

根小、船越小は合意形成が図られなかったことから、現状では進められない。中学校は、全ての小学校区で合意が図られ1校となるものと考えている。32年4月の開校に向け（仮称）新学校準備検討委員会を設置し、校名、校歌、校章、運動着などの準備を進めていく。



議員 吉川 淑子  
( 新 生 会 )

一般質問



船越小学校で行われた住民説明会